

第1回 岡山大学文明動態学研究所 学術研究集会

科研費
KAKENHI



吉備の古代史を考える

2026年1月24日(土)

ZOOMによる
オンライン開催

これまで考古学研究は列島社会の複雑化・統合にはたした吉備の大きな役割を明らかにしてきましたが、それに対応すべき古代史研究では吉備が積極的に取り上げられることはありませんでした。本研究集会では考古学・古代史学が協力して古代吉備の実像を考えます。吉備の多角的な検証により列島社会の変容解明の新地平を切り拓きます。

事前申込必要

前日まで



◎申し込み：

左のQRコードからお申し込みください。

折り返し詳細をご連絡いたします。

問い合わせ先：岡山大学 文明動態学研究所 ridc@okayama-u.ac.jp

主催：岡山大学文明動態学研究所

共催：科学研究費学術変革領域研究(A)「マテリアマインド：物心共創人類史学の構築」(代表：松本直子)・同「環境とヒトの相互構築史：汎太平洋の比較研究による文理統合的研究(人間と環境班)」(代表：山口 徹)・基盤研究(A)「災害文化を内包する地域の記憶継承に資する地域歴史資料学と地域形成史の構築」(代表：奥村 弘)・基盤研究(C)「国家形成期における地域勢力の同族結合の様態に関する基礎的研究」(代表：古市 晃)

13:00～13:30

今津勝紀(岡山大)「吉備古代史研究の可能性」

13:40～14:40

ウェスト・スティーブン(東博)「弥生時代・古墳時代における吉備の集落と人口動態」

14:50～15:50

古市 晃(神戸大)「吉備勢力の系譜と伝承」

16:00～17:00

ライアン・ジョセフ(岡山大)「古代吉備における鉄生産の実態解明に向けて—鉛同位体比による鉄鉱石の産地同定の試み—」

